

**12/25 生前の功績たたえて 故・高橋静夫さんに叙位**

昨年十月に亡くなった、元葦山町長の高橋静夫さん(四日町)が、生前の功績により、内閣総理大臣から従六位の叙位を受けました。

故・高橋さんは、昭和三十四年に四十歳で葦山村議会議員に当選し、以後、葦山町議会議員として四期十四年在職。その後、同町助役に選任され、昭和五十六年に同町長に当選し、一期四年間、葦山町の発展と振興に多大な貢献をされ、平成五年には勲五等双光旭日章(地方自治功労)を受章されました。

叙位は、県知事室長より、「ご遺族である長男の誠一さんご夫婦に伝達されました。故・高橋さんの功績をたたえらるるとともに、ご冥福をお祈りします。



伝達を受けるご遺族(写真上) 故・高橋静夫さん(写真右)

**12/20 交通事故のないまちへ 伊豆の国市交通安全市民大会**

交通事故のない安全で安心なまちづくりを目指して、『伊豆の国市交通安全市民大会』を開催しました。

開幕は、県警音楽隊先導の交通安全パレード。市長や和田知明大仁警察署長、市、交通安全協会、安全運転管理協会など関係団体から約五百五十人が千歳橋(アクス)からつらぎの県道約五百エをパレードしました。

アクスからつらぎの式典では、交通事故で長男を亡くした瀬崎多津子さん(浜松市)が基調講演を行い、交



交通安全パレードでは1日警察署長の柏木くん(中央)が市民の先頭に

通事故遺族の悲痛な思いと命の大切さを訴えました。続いて、一日警察署長の柏木駿哉くん(長岡南小六年)が、「飲酒運転、悪質な運転は絶対にしない」「交通安全について家族や周りの人と真剣に話す」「交通ルールを守る」「交通安全を呼びかける」という交通事故撲滅宣言を来場者全員の前で読み上げました。

式典終了後は、県警音楽隊とカラーガードによる交通安全コンサートが披露され、大会は幕を閉じました。



晴天の下、過去最多 688 人が走り(歩き)初め

**1/1 過去最多の参加者数 元旦マラソン&ウォーキング大会**

恒例の元旦マラソン&ウォーキング大会を、葦山時代劇場大駐車場横をスタート・ゴールに開催。晴天の下、子どもからお年寄りまで過去最多六百八十八人が、富士山をバックに走り(歩き)初めました。マラソンの部、上位の結果は次のとおり。

【男子三〇】 青木光洋(御殿場市)、梅原克佳(伊豆市)、稲村健(三島市)

【女子三〇】 黒田真央(伊豆の国市)、今井愛奈(伊豆の国市)、深沢ほのか(芝川町)

【男子一五】 高井則充(伊豆の国市)、安立俊(伊東市)、原田慎也(埼玉県さいたま市)

【女子一五】 桑原桃子(伊豆の国市)、高井美彩(伊豆の国市)、杉山明夏(函南町) \* 敬称略

**1/4 新年の挨拶と表彰を 伊豆の国市賀詞交歓会**

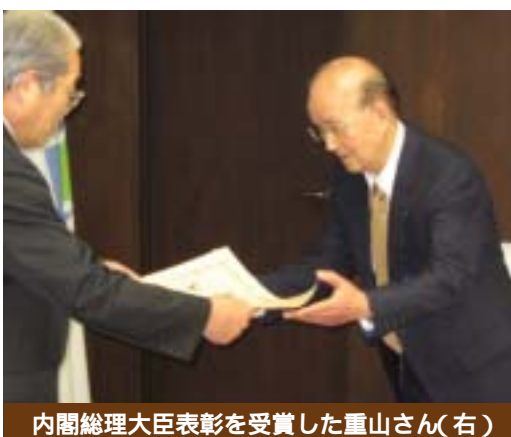
洋蘭飯店で賀詞交歓会を開催し、各団体や各区、市議会議員、市関係者など二百八十九人が新年の挨拶を交わしました。また、市の発展に貢献した二十二人が表彰されました。

【善行表彰】 石井ハルノ(田京)

【功績表彰】 佐野和美(南條)、鈴木杏菜(沼商三年)、富手美希(沼高三年)、菊池颯(同)、相原達也(修工三年)、坂本千明(同)、渡邊秋(同)、青木翔生(同)、須田未沙紀(同)、渡邊満里奈(同)、吉川綾乃(三島北高三年)、筑木理紗(同)、太田早紀(日大三島高三年)、岡本怜奈(加藤学園高三年)、白澤未来(三島高三年)、越智菜月(同)、樽井志織(同)、高安由姫(葦高三年)、石井伶毅(伊豆中央高三年)、石井哲朗(同)、平井克幸(同) \* 敬称・功績略



会場では、市の発展に尽くした22人を表彰



内閣総理大臣表彰を受賞した重山さん(右)

**12/16 選挙推進に長年尽力 重山蔵男さん内閣総理大臣表彰**

昨年は、選挙制度を開始した明治二十二年から数えて百二十年目にあたる年。これにちなみ国では、長年選挙の管理執行に精励した人や選挙制度の研究・普及などに特に尽力した人を表彰しました。

当市では、重山蔵男さん(南條)が、内閣総理大臣表彰を受賞しました。重山さんは、昭和六十一年から旧葦山町の明るい選挙推進協議会委員として活動をはじめ、以後二十三年間、投票率の向上やクリーンな選挙の実現を目指し、明るい選挙推進運動に尽力されてきました。

重山さんは現在も、伊豆の国市明るい選挙推進協議会の会長として自ら先頭に立ち、若者を中心とした多くの人に選挙の大切さを訴え続けています。



式典終了後、狩野川グリーン公園で恒例の一斉放水

**1/10 今年も地域を守ります 伊豆の国市消防団出初式**

成人式と同じこの日、伊豆の国市消防団(土屋實団長)は長岡体育館で、新春恒例の消防団出初式を実施しました。

式典には、副団長以下、全十二分団から二百二十五人の団員が参加し、来賓は約百人が出席しました。式典では、市長や団長の訓示に続き、上部団体表彰など五十四人が表彰されました。式典終了後は、全団員が千歳橋下流の狩野川グリーン公園に移動し、ポンプ車で、狩野川に向かって一斉放水しました。

伊豆の国市消防団では、四月一日から女性消防隊も創設し、地域の防災リーダーとして、今後ますますの活躍が期待されます。

(関連記事七ページ)

**12/17 人も水も安全な橋に 皆澤橋一年ぶりに開通**

戸沢川と長岡川の合流点にあり、約一年弱にわたり架け替え工事を進めていた皆澤橋が開通しました。

開通式には、市長や県職員、県市議会議員、大仁警察署長、観光協会長、長岡区長ら関係者約百人が同席。テープカットや長岡保育園児によるくす玉割りで完成を祝った後、出席者全員で渡り初めをしました。

橋は、河川断面を約三倍に拡大する河川改修に伴う架け替えにより、橋長十五・六エ、幅員十一・二エとなり、水害への安全性を確保。また歩道設置により歩行者の安全性も向上しました。戸沢川流域では引き続き、小坂排水機場のポンプ増強、調整池の設置など、総合的な治水対策事業を進めています。



代表者テープカットと園児のくす玉割りで開通